


令和4年度 研究サマリー

研究会名称	保存期腎不全治療研究会	
代表者所属	医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック	
代表者氏名	海津 嘉蔵	
研究方法・結果	<p>はじめに：CKD 治療における尿酸管理については充分解明されていない。最近、新しい尿酸降下薬が使用可能となった。</p> <p>目的：CKD における尿酸降下療法の効果を明らかにする事を目的として臨床研究を行った。</p> <p>対象と方法：CKD 患者 92 例を使用薬剤によって 3 群に分けた。A 群：ベンズプロマロン 31 例、B 群：フェブキソスタット 19 例、C 群：ドチヌラド 22 例で尿酸値が 5mg/dl 未満になるように用量を調節し、その時点の eGFR を投与前と比較した。</p> <p>結果：尿酸値は 3 群とも 5mg/dl 未満（A 群：4.07±0.99mg/dl、B 群：4.35±0.57mg/dl、C 群：4.04±0.53mg/dl）であった。その結果、eGFRml/min/1.73 m²が有意に上昇した（A 群：49.42±13.74→55.32±13.38 p<0.001、B 群：35.11±12.35→41.42±14.61 p<0.001、C 群：53.45±18.81→56.64±19.82 p<0.05）</p> <p>まとめ：CKD 治療に尿酸降下療法は有効である可能性が示唆された。</p>	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）	<p>2021/12/8 第 113 回大貫カンファレンス チーム医療による腎機能改善外来診療から見てきた尿酸管理の重要性と問題点</p> <p>2022/7/20 持田製薬株式会社 社内講演会</p> <p>2022/8/3 高尿酸血症を考える会 チーム医療による CKD 治療において尿酸管理をどうするか？－日常診療の経験から－</p> <p>2023/6/30 持田製薬株式会社 社内講演会 チーム医療による C K D の治療と尿酸管理～尿酸管理をどうするか？～</p>	